【専門分野Ⅱ】

科目	単位（時間数）	年次	開講時期	担当者
精神看護学演習Ⅰ	１（１５）	３	第1学期	① 岡島　優子 ② 飯塚　三枝子 ③ 堀　綾子

目　　標
心のケアを必要とする対象の看護の実際を理解する

回	時間	授業内容	授業方法	備考
1	2	１．心のケアを必要とする対象の看護展開 １）白血病患者の看護 （１）白血病患者の特徴 （２）白血病の症状に対する看護 ①貧血　②出血傾向　③白血球減少 （３）白血病の治療に伴う看護 ①化学療法を受ける患者の看護（副作用に対する看護） ②造血幹細胞移植を受ける患者の看護	講義	担当者① 10時間
2	2	（４）白血病各期における看護 ①急性期、増悪期患者の看護 ②寛解期の患者の看護 ③終末期の患者の看護　再発期 ④治療が期待できなくなった時の看護	講義・演習	①
3	2	１．心のケアを必要とする対象の看護展開 １）急性腎不全患者の看護 ２）慢性腎不全患者の看護 （１）慢性腎不全患者の特徴 （２）慢性腎不全の症状に対する看護 ①尿の異常　②浮腫　③高血圧 ④うっ血性不全　⑤尿毒症	講義	①
4	2	（３）慢性腎不全の治療に伴う看護 ①食事療法　②薬物療法	講義・演習	①
5	2	（４）透析を受ける患者の看護 ①血液透析 ②腹膜透析（ＣＡＰＤ） ③急性期持続血液濾過透析 （５）腎移植を受ける患者の看護	講義・演習	①
6	2	２．心のケアを必要とする対象への治療的介入 １）音楽療法 ①目的 ②音楽療法士の役割と実際の活動	講義	担当者② 2時間
7	2	３．心のケアを必要とする対象への治療的介入 ２）カウンセリング ①カウンセリング・心理療法の種類と方法 ②臨床心理士が行うアセスメント ③臨床心理士の役割と実際の活動	講義	担当者③ 2時間
8	1	終講試験（筆記試験）		

授業形態	講義および演習
評価方法 点数配分	筆記試験 100点 他の事項については履修規程の第５条、第６条に定めるとおりとする
テキスト	成人看護学（４）　血液・造血器　：医学書院 成人看護学（８）　腎・泌尿器　：医学書院
その他	

【専門分野Ⅱ】

科目	単位（時間数）	年次	開講時期	担当者
精神看護学演習Ⅱ	１（３０）	３	第1学期	① 池田　宏太 ② 小山田　圭吾

目　　標
精神に障害のある対象の看護の実際を理解する

回	時間	授業内容	授業方法	備考
1	2	１．援助関係の構築（１） １）交流分析による自己分析　　２）自己分析結果の活用	講義	担当者① 14時間
2	2	１．援助関係の構築（２） ３）コミュニケーション技術　　４）精神看護における患者－看護師関係	講義	①
3	2	１．援助関係の構築（３） ５）プロセスレコードの意義と活用	講義	①
4	2	２．事例によるプロセスレコードの分析（１）	講義・演習	①
5	2	２．事例によるプロセスレコードの分析（２）	講義・演習	①
6	2	３．気分障害患者の看護（事例展開） １）対象の理解（アセスメント） ２）看護問題の抽出	演習	①
7	2	３）看護計画の立案	演習	①
8	2	４．精神看護における安全管理 １）病棟環境の整備と行動制限	講義	担当者② 15時間
9	2	２）自殺、自殺企図、自傷行為への対応 ３）攻撃的行動、暴力予防プログラム（ＣＶＰＰＰ） ４）災害時の精神科病棟の安全の確保	講義	②
10	2	５．社会復帰・社会参加へ向けての社会資源の活用 １）医療に関わる社会資源（精神科デイケア、精神科ナイトケア、精神科訪問看護、行政との連携） ２）生活を支える社会資源（自立訓練、就労移行支援、就労継続支援、地域活動支援センター、グループホーム、福祉ホーム、居宅介護と同行援護、短期入所、移動支援） ３）当事者の力を高める援助（セルフヘルプグループ、家族会） ６．多職種連携と看護の役割	講義	②
11	2	７．統合失調症患者の看護（事例展開） １）対象の理解（アセスメント） ２）看護問題の抽出	演習	②
12	2	３）看護計画の立案（治療と援助）	演習	②
13	2	４）看護計画の立案（セルフケアへの援助）	演習	②
14	2	５）看護計画の立案（社会復帰に向けた援助）	演習	②
15	1	まとめ	講義	②
16	1	終講試験		

授業形態	講義および演習
評価方法 点数配分	筆記試験 100点 他の事項については履修規程の第５条、第６条に定めるとおりとする
テキスト	精神看護学（１）精神看護の基礎　：医学書院 精神看護学（２）精神看護の展開　：医学書院 自己理解・他者理解を深めるプロセスレコード　：　日総研
その他	事例を活用し具体的に学ぶ